しょう4 こくご「書写・故事成語・物語を作る」 その2

なまえ＿＿＿＿＿＿＿＿　　がつ　にち　てん＿＿＿＿ / 20

1　毛筆で書くとき、半紙が動かないように上にのせておさえる道具は?

ア 下じき　イ 文ちん　ウ 筆　エ すずり　こたえ＿＿＿＿

2　毛筆で字を書くとき、すみをためたりすったりする道具は?

ア すずり　イ 下じき　ウ 文ちん　エ 半紙　こたえ＿＿＿＿

3　お話の中に出てくる人や動物を何というか?

ア 作者　イ 登場人物　ウ 題名　エ 読者　こたえ＿＿＿＿

4　毛筆の練習で、字を書くために使ううすい紙は?

ア 画用紙　イ 半紙　ウ 色紙　エ 新聞紙　こたえ＿＿＿＿

5　物語の「山場」とは どんな ところ?

ア 登場人物を一人ずつしょうかいするところ　イ 物語がおわったあとの長い話

ウ 出来事が大きく動き、いちばんもり上がるところ

エ 物語の題名と作者を書くところ　こたえ＿＿＿＿

6　「温故知新」の意味は?

ア 古いものをぜんぶすててしまうこと

イ むかしのことを調べ、これからに役立つちえを見つけ出すこと

ウ 体をあたためて元気になること　エ 新しいことを学び、古いことはわすれること

こたえ＿＿＿＿

7　「さみだれをあつめて早し最上川」(松尾芭蕉)の季語は?

ア 最上川　イ あつめて　ウ さみだれ　エ 早し　こたえ＿＿＿＿

8 故事成語「杞憂」の意味は?

ア 大きな悲しみに しずむ こと　イ 起こりそうも ない ことを、あれこれ心配する こと

ウ 先の ことを よく 考えて 用意する こと　エ 心配ごとが すっかり なくなる こと

こたえ ＿＿＿

9 毛筆で 書く ときの 筆の 持ち方で よい ものは?

ア じくの はしを 指一本で 持つ　イ ほ先を にぎって 持つ　ウ じくを ねかせて 持つ

エ じくを まっすぐ 立てて 持つ　こたえ ＿＿＿

10 故事成語「漁夫の利」の 意味は?

ア あらそう 二人の すきに、べつの 人が とくを する こと

イ みんなで 力を 合わせて もうけを 出す こと　ウ 大きな そんを して がっかりする こと

エ 魚を たくさん とる ための 上手な 方法　こたえ ＿＿＿

11 物語の 人物の せいかくを 読み取る ときの 手がかりに なる ものは?

ア 本の ページの 数　イ 登場する 人の 行動や 会話　ウ 物語の 題名の 字の 数

エ 作者の 生まれた 年　こたえ ＿＿＿

12 俳句の 季語で、夏を 表す ものは?

ア 月見　イ つばめ　ウ こたつ　エ ほたる　こたえ ＿＿＿

13 詩の 言葉を「おす」に するか「たたく」に するかで、長い 間 なやんだ 話から 生まれた 言葉は?

ア 杞憂　イ 矛盾　ウ 推敲　エ 蛇足　こたえ ＿＿＿

14 俳句の 季語で、秋を 表す ものは?

ア ほたる　イ こたつ　ウ つくし　エ すすき　こたえ ＿＿＿

15 線の おわりで、だんだん 力を ぬきながら 筆を すっと ぬく 書き方は?

ア はらい　イ とめ　ウ はね　エ おれ　こたえ ＿＿＿

16 「たくみは 何を 言われても 首を ふって いた。けれど、 弟が ないて いると 気づくと、だまって 自分の おかしを 半分 わけた。」たくみの せいかくに 合う ものは?

ア 何でも 人の 言う とおりに する　**イ** だれにでも すぐ 心を ひらく

ウ がんこだが、心の やさしい ところが ある　**エ** いつも わがままで いじわるだ

こたえ ＿＿＿

17 へびの 絵を かく きそいで、ない はずの あしまで かいて 負けた 人の 話から 生まれた 言葉は?

ア 矛盾　**イ** 蛇足　**ウ** 漁夫の利　**エ** 五十歩百歩　こたえ ＿＿＿

18 毛筆の「とめ・はね・はらい」を 正しく 書くと、どう なる?

ア 紙が やぶれにくく なる　**イ** 字が 早く かわく　**ウ** 字が 整って 読みやすく なる

エ すみの 色が うすく なる　こたえ ＿＿＿

19 「あおいは 小さな 声で『ぼくも 入れて』と 言いかけて、やめた。そして、みんなが あそぶのを 遠くから 見て いた。」あおいの せいかくに 合う ものは?

ア はずかしがりで ひかえめ　**イ** いじわるで 人を さける　**ウ** 元気で 目立ちたがり

エ らんぼうで 気が 強い　こたえ ＿＿＿

20 漢字と ひらがなを まぜて 書く とき、ふつう 大きさは どう する?

ア ひらがなを 漢字より 少し 小さめに 書く　**イ** どちらも できるだけ 小さく 書く

ウ ひらがなを 漢字より 大きく 書く　**エ** 字ごとに 大きさを ばらばらに する

こたえ ＿＿＿

こたえと かいせつ　しょう4 こくご「書写・故事成語・物語を 作る」 その2

1　**イ 文ちん**

紙の はしに のせる 重い ぼう。

2　**ア すずり**

すみの 入れ物に なる 石の 道具。

3　**イ 登場人物**

お話の ぶたいに 出て くる。

4　**イ 半紙**

書写の 時間に 使う 白い 紙。

5　**ウ 出来事が 大きく 動き、いちばん もり上がる ところ**

読む 人が いちばん どきどきする ところ。

6　**イ むかしの ことを 調べ、これからに 役立つ ちえを 見つけ出す こと**

「ふるきを たずねて あたらしきを 知る」。

7　**ウ さみだれ**

つゆの ころに ふる 長い 雨。

8　**イ 起こりそうも ない ことを、あれこれ 心配する こと**

空が 落ちて こないかと なやんだ 人の 話。

9　**エ じくを まっすぐ 立てて 持つ**

筆の 先が 紙に まっすぐ 向く ように。

10　**ア あらそう 二人の すきに、べつの 人が とくを する こと**

あらそって いる 二人は 何も 手に 入らない。

11　**イ 登場する 人の 行動や 会話**

何を して、何を 言ったか。

12　**エ ほたる**

夜の 川べで 光る 虫。

13　**ウ 推敲**

文を よく する ために 考えぬく。

14 **エ すすき**

お月見に かざる 草。

15 **ア はらい**

先が 細く なって 消えて いく 線。

16 **ウ がんこだが、心の やさしい ところが ある**

前半と 後半の 行動を くらべよう。

17 **イ 蛇足**

よけいな ものを つけ足した。

18 **ウ 字が 整って 読みやすく なる**

形が ととのうと 見やすい。

19 **ア はずかしがりで ひかえめ**

言いかけて やめたのは なぜ?

20 **ア ひらがなを 漢字より 少し 小さめに 書く**

画数の 多い 字は 大きく 見える。